

感染症対策運営要領

北丹陸上競技協会では、公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」及び公益財団法人日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開のガイダンス」に沿った新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアルを策定しています。この競技会はこのマニュアルを遵守し実施します。

<基本事項>

- 1 選手、監督をはじめ、競技役員、応援に来られる方などすべての関係者は、北丹陸上競技協会新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアルを遵守すること。
- 2 体調不良の場合は参加を辞退すること。
- 3 「三つの密」を避けることを徹底し、常に、フィジカルディスタンスを確保すること。
- 4 個人でできる感染症対策（正しいマスク着用・手洗い・うがい・咳エチケット・体調管理など）を徹底すること。
- 5 大会1週間前から当日及び大会後2週間分の検温及び体調管理チェックシートを作成し、各自で保管すること。
＜大会前＞体調管理チェックシート http://www.hokutan-rk.com/covid-19/11_151501.pdf
＜大会後＞体調管理チェックシート http://www.hokutan-rk.com/covid-19/11_151512.pdf
- 6 大会後に発熱などの症状があった場合は、以下へ連絡すること。

北丹陸上競技協会 新型コロナウイルス感染症対策室 高橋尚義 090-4497-5422

<峰山途中ヶ丘公園内での留意事項>

- 1 マスクを着用し、フィジカルディスタンスを確保した上で、声を出しての応援は控えること。
- 2 競技場メインスタンドの利用は、選手や応援者を区分しない。利用者は、節度を持って利用すること。
- 3 競技場入退場口では、手指消毒液を設置する。
- 4 公園内でのテント等設置は、大会当日午前7時。競技場内メインスタンドの開門時間は、大会当日の午前7時30分とする。ただし、他の利用者に迷惑が生じたり、危険性があると判断した場合などは、大会総務から撤去・移動を命じることがあるので、節度を持って利用すること。
- 5 競技場内に限り、太鼓や鳴り物（スティックバルーン含む）での応援は可とするが、ブラスバンドの応援はできない。
- 6 選手等とのハイタッチは禁止する。

<競技役員における選手対応について>

- 1 走行中・中継後に倒れこんだランナーのケアは防護体制（※）を整えたスタッフで対応する。
※防護体制：マスク、フェイスシールド、使い捨て手袋など。その都度、アルコール消毒する。

<沿道の応援について>

- 1 フィジカルディスタンス確保などについて、別途、応援にかかる留意事項を明示する。
- 2 競技役員により適宜、滞留禁止など感染防止対策の呼びかけなどを行う。